

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係技術援助(1) (昭和37年度)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43519">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43519</a>

目次

36.7.20

1

3/27

マイブ指示	発信用	執務用	計
主	信	✓	✓
付			
属			

有正の密件  
(甲)及(乙)

秘

発送日 昭和37年1月22日

公文書 (分類)

公文書番号	北 第 47 号	公文書日付	昭和37年1月22日
大臣		主管	アジア局長
政務次官			宇山審議官
事務次官			
外務審議官			
官房長			
		起案	昭和37年1月18日
		主任	北東アジア課長
		起案者	高島 電話番号 408

北米課長

受信者 在米 朝海大使  
発信者 小坂大臣

宛先 (希望発送日) 月 日

件名 昭和37年度沖繩援助に関する日米折衝の記録 通報件

政府は、池田・ケネディ会談の日米了解による  
沖繩援助の新計画を昭和37年度より実施すべく  
米側と謀合して、ケイセル調査団派遣等。

GA-2 外務省 0188

22 141

昭和37/

関係より時間おくれを来したので、~~新~~年度予算編成  
は39途中  
に当っては上記の本格的援助と~~切離~~現状で  
も可能な範囲で日米了解の精神を織込んだ  
援助の増大を行う~~ことなきを~~米側と折衝と  
重ねた結果、昨年来に至り、日本側<sup>の約4倍</sup>の援助を30項  
目、総額10億025百万とすべく双方の合意を以  
た。この額は36年度の実質援助額2億5000百万  
(総計4億9900百万中より~~対~~高島及遭難児童への奨  
学金等<sup>の約4倍</sup>の差)に当る。(内訳別添付あり)

本件日米折衝の記録 下記のとおり。

(1) 昨年8月琉球政府は、~~昨年~~37年度対日援助  
要請額として、66億円余を米政府に提出  
し、~~非公式~~その内容を日本側にも<sup>内報</sup>送達し  
た。

(2) 米側は、<sup>二水</sup>と検討の上、同年10月9日(在米朝大使館)  
外務省

秘

GA-4 外務省

対し、日本政府 ~~より~~ 19項目、総額9億5,300万  
 円、援助 ~~を要請~~ <sup>を要請</sup> する旨を通報 ~~越した~~ <sup>越した</sup>  
 (別添(2)参照) ~~した~~ <sup>した</sup>  
 よって、当方は、10月14日、日本側対策と  
 して、~~米~~ <sup>日</sup> 米側、外に、20項目、22億2,000万円の追  
 加、増額方を申入れたところ、11月8日、米側より  
 援助総額の ~~増~~ <sup>増加</sup> ~~は~~ <sup>は</sup> ~~認め~~ <sup>認め</sup> ~~ない~~ <sup>ない</sup> ~~こと~~ <sup>こと</sup> ~~を~~ <sup>を</sup> ~~述べ~~ <sup>述べ</sup> ~~た~~ <sup>た</sup>、  
 20項目中7項目は、上記枠内で操作する条  
 件で、その実施に同意する旨 ~~回答~~ <sup>回答</sup> 越した。  
 (1) ~~米~~ <sup>日</sup> 米側に対し、当方は、~~検討~~ <sup>結果</sup> 11月10日米  
 側に対し、池田ケネディ会談の結果に対する  
 国民の期待にも鑑み、総額をもう1億円増  
 して10億円とすると、事業項目も米側同意す  
 る。日本案7項目の外、(1)教育指導委員の派  
 遣 (11)農林中金等への資金供与の2項目を ~~追加~~ <sup>追加</sup>  
~~する~~ <sup>する</sup> 旨を申入れたところ、12月12日ライシャワー  
 外務省

大使は、武内次官との会談において、この問題  
 に觸れ、上記日本側要望は極めて困難な  
 状況にあり、本件につき再度高岸事務官と連  
 絡する際には、次の事実を確認する要あり  
 と述べた。  
 (1) 総額10億円台への増枠は絶対に必  
 要か。  
 (2) 米側が増枠に同意した場合、日本側は  
 おいて確実に予算化できるか。  
 (3) ~~総額~~ <sup>米</sup> 米側において南方同胞援護会  
 関係予算を5,000万円増加 ~~した~~ <sup>した</sup>、高岸事務官  
 と再折衝せよとも10億円台にできるのでは  
 ないか。  
 (4) よって、当方は、12月15日 武内次官より「う」  
 大使に対し、上記 <sup>(1)</sup> (1) (2) (3) に対する回答 ~~を~~ <sup>を</sup>

とともに、~~特に~~特に、国内の政治的事情より、総枠を10億  
円台にすることを是非とも必要であり、~~また~~また、  
本側提案の9事業項目<sup>9</sup>承認を切望される  
旨書き物を手交して再申入れを行った。

次いで、~~本側~~アジア局辛山審議官を12月27日  
沖縄に派遣し、キアラウェイ高等弁務官と本件<sup>上場</sup>日  
本側希望の了承方と~~交渉~~折衝せしめた。

なお上記の結果、米側は次のとおり同意するに  
至った。

(1) 援助総額は10億円の範囲の規模となること  
(及び国内PRのため行政事務費等も含めた10億6千万円と)  
とを了解する。(発表する事)

(2) 援助項目は日本側の追加と承認するが  
教育指導委員の派遣は日米双方において  
計画内容に<sup>3</sup>十分合意ができた上で  
実施するものとする。別紙添付

56/12/28

極 秘

3 事務次官 *[Signature]*    5 アメリカ局長 *[Signature]*    1 アジア局長 *[Signature]*  
 2 外務審議官 *[Signature]*    4 北米課長 *[Signature]*  
 JAN 16 1962  
 7 官房長 *[Signature]*    北東アジア課長 *[Signature]*  
 6 官房総務参事官 *[Signature]*

*[Circular Stamp]*    *[Circular Stamp]*

マイブ指示	発信用	執務用	計
主 信	✓	✓	2
付	✓ 利益 (1) 部	まま添送	のこ
廊			

文書課 *[Stamp]* 公 信 案 (分類)

公 信 番 号 *亜北* 第 *113* 号    公 信 日 付 昭和 *37* 年 2 月 7 日

大 臣 主管 *アジア局長*    起案 昭和 *37* 年 / 月 / 日

政 務 次 官 *宇山審議官*

事 務 次 官

外 務 審 議 官

官 房 長 主任 *北東アジア課*    起案 *[Signature]* 電話番号 *608*

アメリカ局長 *[Signature]*

参 事 官 *[Signature]*

北 米 課 長 *[Signature]*

---

受信者    発信者

*石末 朝海 大使*    *小坂 大五*

---

宛送付先    (希望発送日)

月    日

---

件 名

昭和 *37* 年度における 日本政府の 対沖縄援助  
~~予算~~ に関する件  
 (予算)

1 月 22 日付 往信 亜北才 *47* 号をもって通報  
 した本件に關し、*日本政府* の援助内容と示す資料を  
~~別添~~ 作成の上、米側に手交したため、同

GA-2    7 22 医 省    回覧番号 *6315*



資料一部を参考までに送付す。  
<sup>別添</sup>  
~~本~~ ~~上~~ ~~記~~ ~~件~~ ~~日本~~ ~~政府~~ 援助予算は、日本政府自体  
 が ~~同~~ ~~予算~~ ~~と~~ ~~一~~ ~~部~~ 使用して 援助するものと、琉球  
 政府及び同政府以外の団体に対し、財政援助  
 乃至施設援助を行うものとに区分される。その  
 概要を下表の如く示す。

1. ~~援助予算~~ ~~と~~ ~~一~~ ~~部~~ 日本政府自体において使用する  
 至費 712,657,000 (＄337,936)

2. (1) 琉球政府に対する財政援助額 (同政府 <sup>6</sup> ~~の~~  
 年度予算に繰入られる額)  
 732,909,000 (＄2,035,858)

(2) ~~琉球~~ ~~政府~~ ~~に~~ ~~対~~ ~~す~~ ~~る~~ ~~施~~ ~~設~~ ~~援~~ ~~助~~ ~~費~~  
 729,980,000 (＄83,278)

(1) 琉球政府以外の団体に対する財政援助額  
 711,718,000 (＄32,550)

(1) 琉球政府以外の団体に対する施設援助額  
 7104,986,000 (＄291,628)

総計 71,001,240,000 (＄2,781,250)

別紙添付